

平成22年度 第20回 数理分子生命理学セミナー

日時：平成22年11月24日(水) 14:35～

場所：理学部 E210 講義室

講師：矢澤 隆志先生（福井大学医学部生命情報医科学・助教）

演題：幹細胞からのステロイドホルモン産生細胞の作製

ヒトを含む哺乳動物の主要なステロイド産生器官は、生殖腺と副腎である。生殖腺のステロイドは配偶子や二次性徴の発達に、副腎のステロイドは糖代謝・免疫抑制・ストレス応答・電解質の保持といった生命現象に重要な役割を果たしている。従来、先天性副腎ホルモン欠損症などのステロイド産生異常症に対しては、欠落ホルモンを補うホルモン補充療法が行われてきた。しかしながら、生涯、頻繁な充填が必要であることに加え様々な副作用があることから、これに代わる治療法が求められている。幹細胞からステロイド産生細胞を作製し、患者に移植する再生医療は、これらの問題を解決する理想的な治療法であると考えられる。

私たちは、成体からも採取可能な骨髄間葉系幹細胞から、様々なステロイドホルモン産生細胞を作製することに成功した（Yazawa et al. *Endocrinology* 147, 4104-11 2006）。また、最近、間葉系幹細胞における知見を元に、ES細胞から副腎皮質様の細胞を分化させている。これらの細胞は、将来のステロイドホルモン産生器官の再生へ向けた足がかりになることが期待される。

なお、都合の合う先生方やM2以上の大学院生のみなさんも是非ご参加ください。

連絡先：島田 裕士（理学研究科 数理分子生命理学専攻 内線：7450）